

創立百周年 記念式典 式辞

朝霧晴れゆく富士嶺の山々にも紅葉が訪れ、菊薫る今日の佳き日に、県御当局をはじめ多数の御来賓の皆様、富士同窓会、PTAの皆様方の御臨席を賜りまして、愛媛県立大洲農業高等学校創立百周年記念式典が、かくも盛大に挙行できますことを、生徒・教職員一同、心から感謝申し上げます。

また、この度、創立百周年記念充実事業期成会の皆様方には、記念事業の一環としてコメの色彩選別機を寄贈していただき、本校の農業教育の環境整備・充実に御尽力くださいました。ここに慎んで御礼申し上げます。

顧みますと、本校は大正十四年に大洲村外十カ町村の方々の熱い思いと努力で愛媛県大洲高等農業補習学校として開校いたしました。その後、様々な変遷を経て、昭和二十三年に愛媛県立大洲農業高等学校となり、大正・昭和・平成・令和にわたり百年の歴史を刻んでまいりました。

この間、一万一千名を超える卒業生を世に送り出し、大洲・喜多地域の基幹産業である農業をはじめ地域のリーダーとなり、各界で活躍しています。

このような歴史と伝統の背景には、校訓である「どこに出しても恥ずかしくない人間になれ」「国家社会の役に立つ人間になれ」という教えがあります。将来の国家及び地域

の有為な形成者として、伝統の継承と郷土愛を育み、国際的視野を持った人間を目指すことをいつの時代も生徒に諭してまいりました。

また、本校には「武士に士魂あらば、我等に土魂あり」という農場訓があります。

第十代校長である二宮幸一先生が定められ、今日まで数多くの先輩方がその精神を受け継いできました。農業を愛する心意気を「土魂」と称し、様々な関係機関と連携しながら、現在もなお地域の方々に支えられ農業教育に取り組んでいます。

さらに、第十六代校長である野間哲哉先生が建立された「流汗悟道」の石碑に表されるように、汗を流し苦勞する中で色々なことを学びとる大切さを先輩方から受け継いでき

たことを決して忘れてはなりません。この「土魂」と「流汗悟道」の精神こそ、百年の歴史を継承していく礎となるものです。

そして生徒の皆さんには、創立百周年のスローガンである「Next Stage 百の感謝と未来へ」のもと、これまで築き上げてきた輝かしい歴史と伝統を確実に未来につなげていく務めがあります。

本校は令和八年度から愛媛県立大洲高校農業科として新たな一歩を踏み出し、生徒・教職員一丸となって「Next Stage」へ歩み続けて参ります。

これまで先輩方が築いてこられた「土魂」と「流汗悟道」の精神を継承し、授業や農業クラブ活動などを通して、大地とともに心を

耕していくことがこの地で学ぶ未来の生徒の育成につながるものと確信しています。

終わりになりましたが、御臨席くださいました皆様方に厚く御礼申し上げますとともに、これまで本校を御支援くださいました富士同窓会・PTA・地域の皆様方に、今後とも一層の御指導、御鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます、式辞といたします。

令和六年十一月八日

愛媛県立大洲農業高等学校長 永井伊秀